

瑞穂区

MIZUHO WARD

面積●11.23km² 人口●105,321人
世帯数●46,825世帯 人口密度●9,379人/km²

(平成18年10月1日現在)



山崎川の桜 (平成18年度「瑞穂のさくら写真展」さくら大賞作品「桜道(さくらみち)」)



区のシンボルマーク

瑞穂のイニシャル「M」を花びらにアレンジし、中央に区内の名所山崎川の清流を組み合わせ、瑞穂区の限りない発展・躍進を表しています。



区の花／サクラ



区の木／サクラ

区の魅力づくり

サクラのまち 瑞穂づくり

川とサクラをキーワードに、区民のつながりを深めようと発足した「山崎川さくら塾実行委員会」とともに、写真展や自然観察会などを企画・実施します。

〈平成19～22年度〉

- 瑞穂のさくら写真展の開催
- 自然観察会の開催
- サクラの名木、名所を紹介したサクラマップの作成

伝統的庶民文化の 復活・継承事業

代々受け継がれてきたまつり、道や川などのまちの風景、地域の文化遺産など消えつつある文化に焦点をあて調査や情報収集などを行う過程で発足した「瑞穂うるおいまちづくり会」とともに、まちの魅力・資源を見つけ次世代へ継承していきます。

〈平成19～22年度〉

- まち歩きワークショップの開催
- かわら版の発行などによるPR・情報発信



まちの魅力再発見ワークショップ
「レトロな瑞穂区を探そう！」

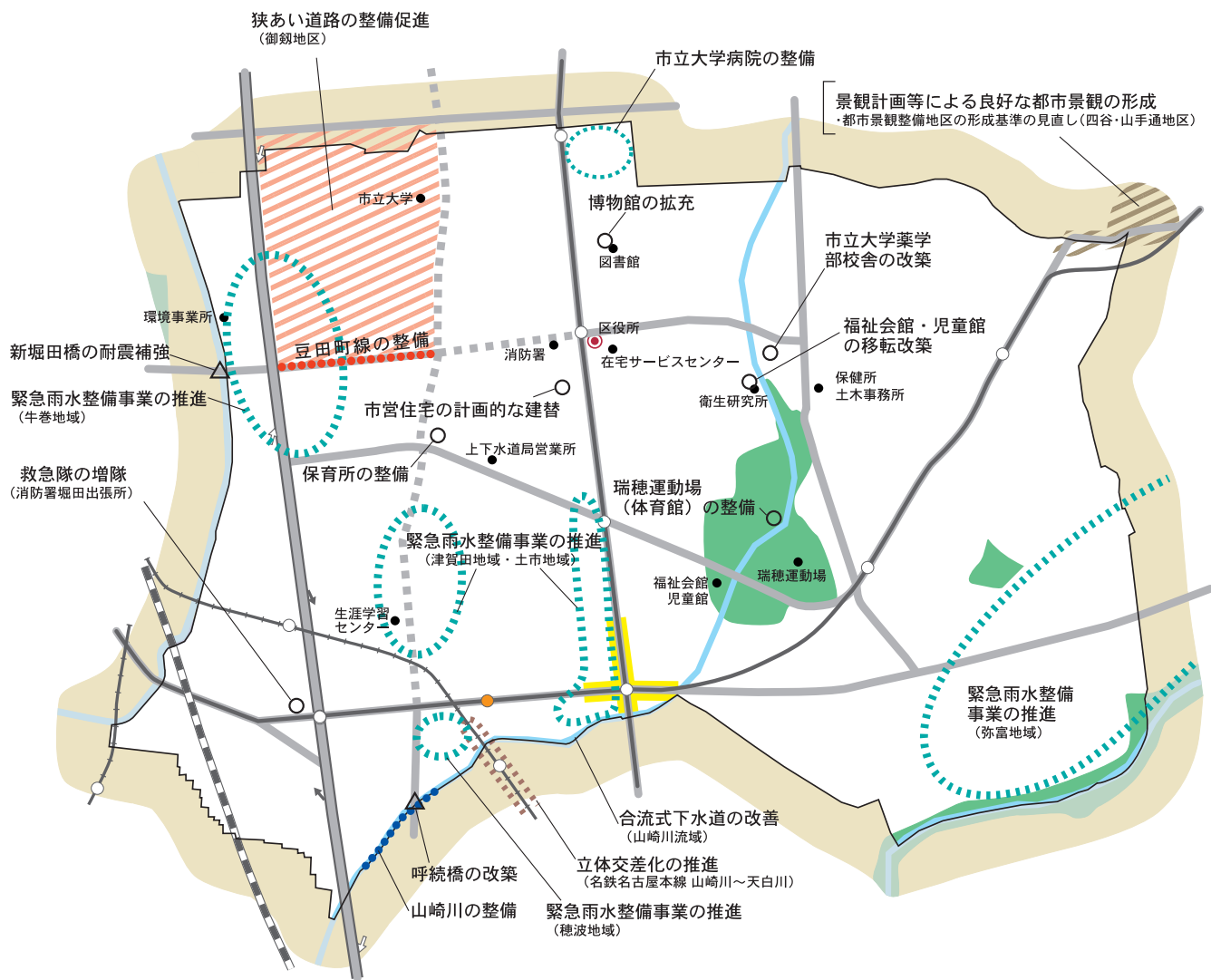
瑞穂区ふれあい ネットワーク事業

ボランティア活動をしてみたいと思っている人や、誰かに助けてもらいたいと思っている人をつなぐため、地域通貨の取り組みを通じ、地域に住む人同士が支え合い、気軽に交流できるまちづくりをすすめます。

〈平成19～22年度〉

- 商店街などとの連携に向けた取り組み
- 市民活動グループ「地域通貨みずほの会」会員間におけるサービスの交換
- 公開講座などの開催

区的主要計画



※ 場所未定の事業：文化小劇場の整備
：図書館の移転改築

：ポイ捨ての防止（美化推進重点区域）

●：公共交通機関におけるバリアフリー化の推進（地下鉄駅）

凡 例

	公園・緑地などの空間		民営鉄道（ＪＲを除く）
	河川・ため池などの水面		地下鉄
	区役所		自動車専用道路
	駅		主な道路（事業中を含む）
	主な施設		主な道路（都市計画決定されている路線）
	民営鉄道（ＪＲ）		インターチェンジ・出入口（白：入口、黒：出口）